

平成22年9月29日

日本原子力発電株式会社
株式会社 東芝
丸紅ユティリティ・サービス株式会社

カザフスタン国立原子力センターとの覚書の締結について

日本原子力発電株式会社、株式会社東芝、丸紅ユティリティ・サービス株式会社（丸紅株式会社全額出資子会社）は、本日、カザフスタン国立原子力センター（以下、NNCという。）との間で、「カザフスタンにおける原子力発電プロジェクト実現のための事前検討に関する覚書」を締結しました。

本件は、2007年4月のカザフスタンへの官民合同ミッションにおいて日本原子力発電株式会社がNNCをはじめとする関係機関と締結した「原子力発電導入に関する技術協力覚書」に基づく協力の一環として、今般、カザフスタンにおける原子力発電導入可能性調査に向けた事前検討への技術協力を行うにあたり、その内容や範囲について覚書を締結するものです。

今後、本覚書に基づき、日本原子力発電株式会社は、本件全体のマネジメントを行うとともに、建設費の試算、法令等の整備、導入工程の立案、実施主体の確立等の提案を通じて、発電事業者の立場からの検討支援を行います。また、株式会社東芝は、プラント概念の具体化に関する検討支援を、丸紅ユティリティ・サービス株式会社は財務評価や資金調達等、経済的成立性に関する検討支援を行います。

なお、本件は、経済産業省公募事業「平成21年度低炭素型・環境対応インフラ／システム型ビジネスにおけるコンソーシアム形成等支援事業」として実施するものです。

以 上

添付資料：カザフスタン国立原子力センターとの覚書（概要）

カザフスタン国立原子力センターとの覚書（概要）

1. 覚書締結日

平成22年9月29日

2. 覚書締結先

カザフスタン国立原子力センター（NNC）

（ カザフスタン共和国産業・新技術省に属する国家機関であり、原子力発電所の安全及び原子力工学試験・研究等を実施する機関。 ）

3. 覚書に基づく技術協力の内容

- ・ カザフスタンから指定のあった炉型について、カザフスタン国内の状況に応じたプラント概念設計、仕様検討を行うとともに、導入に要する費用を算出し、カザフスタン国内における原子力発電事業の採算性の検討支援を行う。
- ・ カザフスタン国内法等の整備状況の確認を行い、原子力発電の実現に向け必要となる法令等の整備について検討支援を行う。
- ・ カザフスタン国内の状況や要望の確認を行い、カザフスタン国内における実施主体組織の確立に向けた提案を行う。